



さあ 歴史の現場へ!

奈良

修学旅行用

スポットガイド



奈良公園エリア

ならまちエリア

平城宮跡エリア

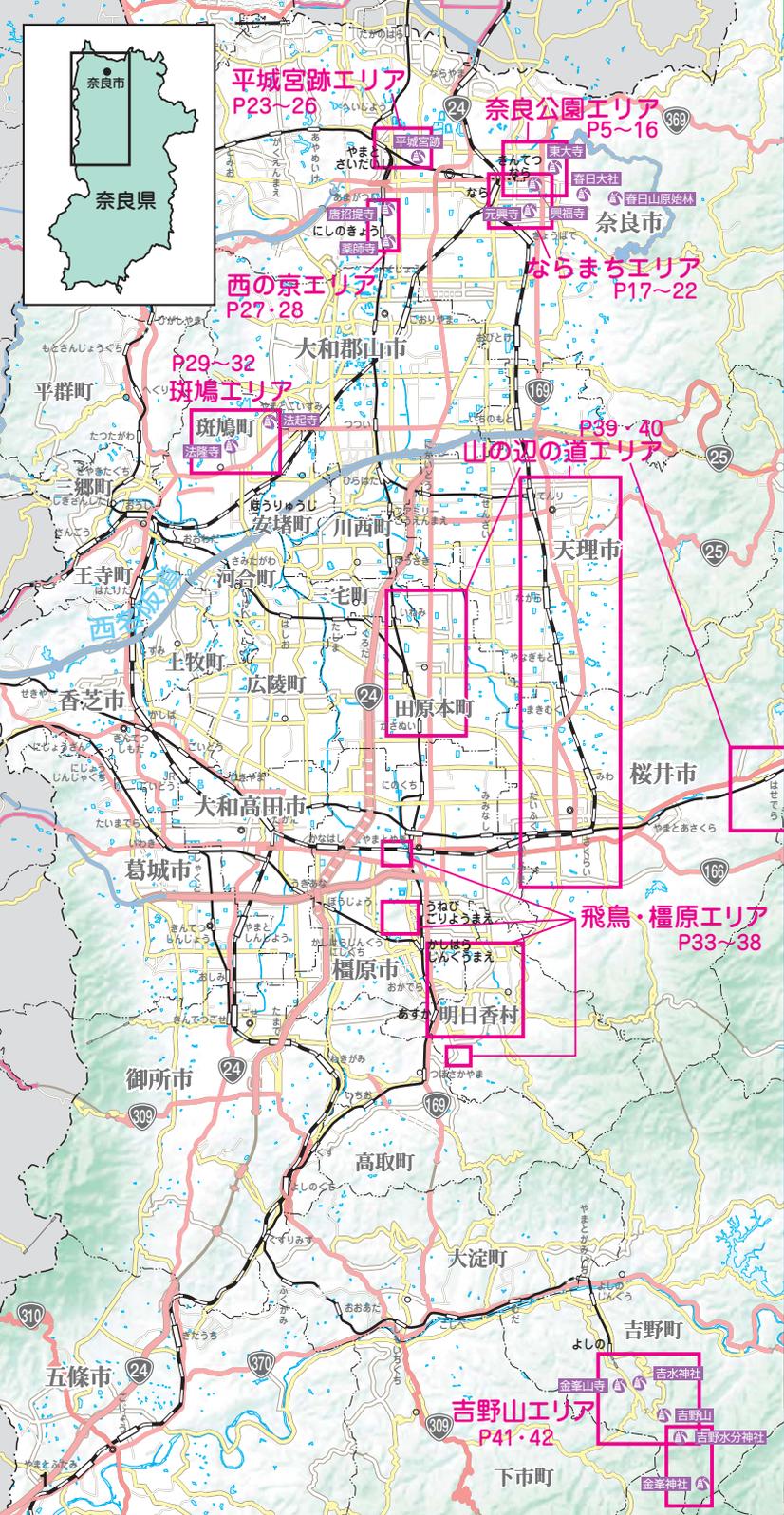
西の京エリア

斑鳩エリア

飛鳥・橿原エリア

山の辺の道エリア

吉野山エリア



INDEX

奈良周辺交通図		3
奈良公園エリア	ガイド	5
	マップ	15
ならまちエリア	ガイド	17
	マップ	21
平城宮跡エリア	ガイド	23
	ガイド	25
	マップ	25
西の京エリア	ガイド	27
	マップ	27
斑鳩エリア	ガイド	29
	ガイド	31
	マップ	31
飛鳥・橿原エリア	ガイド	33
	マップ	37
山の辺の道エリア	ガイド	39
	マップ	39
吉野山エリア	ガイド	41
	マップ	41

1,400年前から国際都市であった奈良。
 守り継がれてきた社寺の建築物や
 宝物、仏像、豊かな自然など
 たくさんのみどころがあります。
 奈良を知ることは日本を知ること。
 さあ、日本の源流を知る旅へ。



奈良公園 エリア



奈良公園 とは

奈良公園は511haの広大な地域にまたがり、貴重な歴史的文化遺産を包蔵する東大寺、興福寺、春日大社、奈良国立博物館、正倉院等々が隣接する雄大で豊かな緑の自然美が調和した他に類例のない歴史公園とも称される公園です。

奈良公園は

511haの広大な

地域にまたがり、

貴重な

歴史的文化遺産を包蔵する東大寺、興福寺、春日大社、奈良国立博物館、正倉院等々が隣接する雄大で豊かな緑の自然美が調和した他に類例のない歴史公園とも称される公園です。



木々に映える堂塔伽藍、若草に萌える芝生、鹿の群れ遊ぶ風情で代表される奈良公園は古都奈良の顔でもあります。明治より現在まで、数多くの文人等が奈良を訪れ、また住まう中で、奈良公園における景観の特性を評した記述を残しています。



志賀直哉は「兎に角、奈良は美しい所だ。自然が美しく、残っている建築も美しい。」と書き残しています。

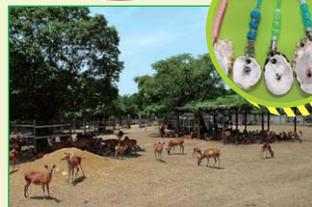
県庁舎
屋上広場

県庁の屋上から奈良盆地の景観が一望できます。東側と南側に広がる

奈良公園の鹿



鹿角ストラップ



鹿苑

0742-22-2388(奈良の鹿愛護会)
無料(鹿のえさ代として100円程度の協力金)
[アクセス]JR奈良駅・近鉄奈良駅から奈良交通バスで「春日大社表参道」下車、東へ徒歩約7分

ケガや病気、妊娠中の鹿を保護する施設で、季節ごとの鹿の生態を実際に観察し、「奈良のシカ」について理解を深めることができます。10月3連休に実施される鹿の角ぎりは鹿苑角ぎり場で行われます。(有料)

鹿角ストラップづくり体験(所要時間約30分)
10名以上より、要予約(有料)

地図P16
F-5

奈良の鹿とは?

奈良公園といえば鹿! 春日大社の主祭神タケミカヅチノミコトは鹿に乗って当地にやって来たという言い伝えがあり、鹿は昔から神の使いとしてとても大切にされてきました。奈良公園には約1,200頭の野生鹿が生息、毎年5月中旬から7月頃には鹿の赤ちゃんが生まれ、6月に特別公開しています。

鹿の角ぎり



鹿の角ぎりは、秋を彩る伝統行事のひとつ。鹿は秋に繁殖期を迎えるので、雄同士のトラブルや人間への被害を防止するために江戸時代から始められました。

鹿寄せ



ナチュラルホルンを吹いて鹿を呼び寄せの観光イベントです。集まった鹿には、ごほうびとしてどんぐりが与えられます。(1日1回有料、要予約)

鹿トリビア

- ★奈良公園の鹿は国の天然記念物。
- ★鹿せんべいは鹿のおやつ。主原料は米ぬか。
- ★鹿寄せで演奏されるのは、ベートーベン作曲の交響曲第6番「田園」第5楽章の一節。
- ★鹿の子模様があるのは春と夏だけ。
- ★鹿は牛の仲間ですが胃が4つある。



浮見堂

0742-22-0375(奈良公園事務所)
無料
[アクセス]JR奈良駅・近鉄奈良駅から奈良交通バスで「春日大社表参道」下車、南へ徒歩約5分

奈良公園内の鷺池に浮かんでいるかのように建つ六角形の東屋。水面に映る姿は特に美しく、水辺の憩いの場として親しまれています。周囲は浅茅ヶ原園地と呼ばれ、変化に富んだ地形が魅力的な景勝地。

地図P15
D-6



若草山

0742-22-0375(奈良公園事務所)
大人(中学生以上)150円、小人(3歳以上)80円
[アクセス]JR奈良駅・近鉄奈良駅から奈良交通バスで「春日大社本殿」下車、北へ徒歩約5分

若草山は笠を3つ重ねたような形から三笠山とも呼ばれています。全体が芝生で覆われており、毎年1月第4土曜日に行われる「若草山焼き」が有名です。標高342m。山頂からは雄大な景色が広がります。夜景は特に美しく、新日本三大夜景にも選ばれています。

地図P16
G.H-2,3,4

奈良公園の東大寺大仏殿、若草山、興福寺五重塔などが間近に見られる絶好のスポットです。

とう だい じ 東大寺



☎ 0742-22-5511

¥ 大仏殿、法華堂(三月堂)、戒壇堂、東大寺ミュージアムは 中・高校生 各800円、小学生 各400円
[アクセス]近鉄奈良駅から奈良交通バスで「東大寺大仏殿・春日大社前」下車、徒歩約5分

東大寺の歴史

東大寺は、1,250年以上前の奈良時代に聖武天皇が建てたお寺です。この時代、飢饉や災害、伝染病の流行、また政治的なあそいが数多く起こり、国が大いに不安定になったため、聖武天皇は仏教の教えによって、すべての生き物が幸せに暮らせるようにと、大仏さま(正式な名前は盧舎那仏)を造ることを計画しました。延べ260万人もの人が参加、着工から長い年月をかけて完成しました。その後二度の戦火で大仏さまは大きく破損してしまいましたが、その都度、多くの人々の協力により復興されました。東大寺の広い境内には大仏殿をはじめ、二月堂、法華堂(三月堂)、南大門、戒壇堂など多くの木造建築物が立ち並び、天平期(奈良時代)の仏像も数多く安置されています。



盧舎那仏と大仏殿

地図P16 E-2,3



大仏さまのお顔は5.3m。像高の1/3もありますが、遠近法で下から見上げたときに、バランス良く見えるように工夫されています。

奈良のシンボル「大仏さま」は聖武天皇により745年に現在地で製作がはじまり、752年に完成しました。お釈迦さまの身長を10倍にした大きさ(約15m)で造ること

によって、無限大の宇宙をあらわしています。大仏さまが鎮座する大仏殿は幅約57m、奥行約50m、高さ約48m(ビルでいうと15~16階建てに相当します)にもなる世界最大級の木造建築物です。



大仏殿正面にある八角燈籠は、金銅製としては、日本最大・最古のもの。東大寺創建当初から伝わる、すばらしい天平文化の工芸品です。



二月堂

地図P16 F-2

春をよぶ奈良の風物詩「お水取り」が行われる、東大寺境内の東奥に建つ舞台造りのお堂です。舞台からは奈良市街地から生駒まで一望できます。

展望スポット!



戒壇堂

地図P15 D-2

出家者に正式な僧侶になるための戒律を授ける場所です。堂内の四隅には奈良時代の傑作とされる、持国天、增長天、広目天、多聞天の塑像が安置されています。



南大門

地図P16 E-3

参道にそびえ立つ高さ約25mのわが国最大級の寺院の門です。鎌倉時代の仏師運慶、快慶らによって造られた阿形(門内の向かって左)、吽形(同右)の金剛力士立像(仁王像)が安置されています。



写真提供・美術院



写真提供・美術院

奈良太郎と呼ばれる大鐘

地図P16 F-2



日本三名鐘のひとつとされており、鎌倉時代に力持ちの武将、朝比奈三郎がついたところ三日三晩鐘がなりやまなかったのその後、本来の場所よりも下をつくようになったといわれています。



鐘をつく場所がずれている



法華堂(三月堂)

地図P16 F-2

東大寺で一番古い建物といわれ、奈良時代と鎌倉時代のふたつの時代の建物がバランスよくつながれています。室内には本尊の虚空蔵菩薩観音菩薩立像を中心に、合計10体の国宝の仏像が立ち並んでいます。

東大寺のおもしろ話「ねこ段」



大仏殿東側にある、大鐘へ続く石段は「ねこ段」とよばれ、転がり落ちると「猫」になってしまう? という伝説があります。

東大寺ミュージアム

地図P16 E-3

1,250年以上にわたり伝えられてきた「東大寺の歴史と美術」を学ぶことができる施設です。展示室のはじめには、大仏さまの造立を発願された聖武天皇の思いや数度の戦火からの再興など、大仏さまについてより理解を深めることができる7分間の映像を放映しています。入口横には大仏さまの実物大の手の模型が展示されています。



大仏さまの手
実物大!



こ ぶ け 興福寺

☎ 0742-22-7755

📍 国宝館 中・高校生800円、小学生500円 東金堂 中・高校生300円、小学生200円
 中金堂 中・高校生300円、小学生200円 共通券(中金堂・東金堂・国宝館) 中・高校生1,100円、小学生600円
 [アクセス] 近鉄奈良駅から徒歩約5分



興福寺の概要

710年、平城遷都の際に、藤原不比等が飛鳥にあった
 厩坂寺を移築し、興福寺と改名。藤原氏の氏寺として、

一族の隆盛とともに
 に寺勢が拡大しま

した。広大な境内には、天平期の優美
 さを残す繊細な美しい塔である五重塔
 のほか、2018年に再建された中金堂
 などの歴史的建造物が立ち並びます。
 中でも、古代から近世まで、各時代の仏
 像が一堂に会する国宝館は必見です。
 現在、興福寺では五重塔保存修理工事
 を実施しております(修理期間:令和4
 年6月~令和13年3月(予定))。



阿修羅像

写真提供:飛鳥園

中金堂 ちゅうこんどう

金堂とは、本尊仏を安置
 する寺院で最も大切なお
 堂のことを指します。興福
 寺の敷地の東には国宝・
 東金堂と五重塔が並び、
 西にはかつて西金堂があ
 りました。

3つの金堂の中心にあり、
 境内の中枢にあるのが中
 金堂なのです。

中金堂は7度の火災に遭
 い、1717年焼失後約
 300年ぶりに2018
 年、落慶を迎えました。
 本尊・釈迦如来坐像に向
 かって左の西第1柱には、

法相宗14人の祖師を描いた「法相柱」があります。これは他の寺院では見られないものです。堂の内部には、本尊を四方から囲むようにしてお護りする4軀の仏像、
 国宝・四天王立像が安置されています。



法相堂

地図P15
 B-4

東金堂 とうこんどう

地図P15
 C-5

726年、聖武天皇が伯母の元正天皇の病
 気平癒を祈願し建立した堂です。室町時代
 に再建された建物は、力強くも優雅な天平様
 式の寄棟造。室内には、本尊の薬師如来坐像
 や、智恵の仏ともいわれる文殊菩薩坐像など
 が安置されています。

五重塔 ごじゅうのとう

地図P15
 C-5

東金堂の南に建つ五重塔は、光明皇后に
 よる創建と伝えられます。東金堂と同様、5度
 の焼失と再建を繰り返した建物で、高さ約
 50mと、わが国の五重塔としては東寺のもの
 に次いで2番目の高さです。

国宝館 こくほうかん

地図P15
 C-4

食堂の跡地に建てられた文化財
 収蔵・展示施設。名高い阿修羅
 像を含む八部衆立像や、室町時
 代の火災でも焼け残った銅造仏頭
 をはじめ、数多くの国宝、重要文化
 財が収蔵されています。



北円堂 ぼくえんどう

地図P15
 B-4

日本に現存する八角円堂のうち、
 最も美しいと賞賛されるこの堂
 は被災した30年後の1210年
 頃に再建され、現在もその姿を
 残しています。通常は扉を閉ざし
 ていますが、毎年春と秋に特別拝
 観ができます。室内には国宝であ
 る本尊の弥勒如来坐像や無著・
 世親菩薩立像などが安置されて
 います。



南円堂 なんえんどう

地図P15
 B-5

南円堂は813年に建立した国内
 最大級の「木造八角円堂」で興福
 寺を礼拝する順番について金堂
 に次ぐ2番目に礼拝すべき場所と
 されています。通常は扉を閉ざし
 ていますが、毎年10月17日のみ
 公開しており、西国三十三所観音
 巡礼の第九番札所として庶民たち
 の信仰も集めるようになりました。
 室内には、康慶の制作となる
 四天王像が安置されています。



奈良の「六道の辻」

地図P15
 B-5



興福寺と猿沢池の間に、六叉路の場所があります。
 そこは「六道の辻」と呼ばれ、前世の行いによって、
 地獄、餓鬼、畜生、阿修羅、人間、天上のいずれかに
 生まれ変わるといふ言い伝えがあります。興福寺へ
 つながらる五十二段の階段は、善財童子が52人の
 知識人を尋ねまわった古事に由来し、仏門へ入る
 修行の階段を表現していて、天上への道として伝え
 られています。

かすが たい しゃ 春日大社

☎ 0742-22-7788

¥ 回廊内特別参拝は初穂料700円

国宝殿 高校生400円、小・中学生300円

[アクセス] 近鉄奈良駅から奈良交通バスで「春日大社本殿」下車、すぐ



春日大社の概要

春日大社は、
奈良の都・
平城京を守
護するため

に、古くから神聖な場所とされ
た御蓋山(春日山)に、遠く鹿島
(茨城県)から神を迎え、祀った
のが始まりです。神護景雲2



飛火野からみる御蓋山

写真提供: 春日大社

(768)年に現在の地に社殿を造営しました。12月17日を中心に行われる若宮神社の例祭「春日若宮おん祭」をはじめ、毎日朝夕の神事など、年間2,200回に及ぶお祭りが執り行われています。

御本殿



春日大社の御本殿は、屋根が曲線を描いて反り、正面に片流れの庇を付けた「春日造」と呼ばれる御社が、ほぼ同じ大きさ・構造で、東から第一殿、第二殿、第三殿、第四殿の順に並列しています。御蓋山の西の尾根上にあり、東から西に向かって少しずつ低くなっているため、四棟が階段状に建てられています。

春日大社が今なお、いにしえと変わらぬ神聖な姿を保っているのは式年造替が行われているからこそ。式年造替は、創建以来ほぼ20年に一度、途絶えることなく行われてきました。

また、御本殿の塗装には本朱と呼ばれる水銀朱が100パーセント用いられており、これは全国に類例がありません。

回廊 かいろう

地図P16

G-5

回廊とは、寺院や神社で中庭を囲むように巡らされた屋根付きの建物のごとで、連子窓で内側と外側が仕切られています。南回廊の南門正面には天皇陛下のお供え物を一旦納める幣殿と宮中伝来の御神樂を行う舞殿があります。

また、回廊内には約1,000基の釣燈籠がつるされています。



国宝殿 こくほうでん

地図P16

G-5



国宝殿は、春日大社が所有する国宝352点・重要文化財971点をはじめ多くの文化財を所蔵し、展示されています。春日大社は、所蔵文化財の多くが平安時代製作の宝物であることもあり、平安の正倉院とも言われています。

藤浪之屋 ふじなみのや

地図P16

G-5

藤浪之屋では、万燈籠の雰囲気感を再現しています。万燈籠とは、境内にあるすべての灯籠に灯がともされる神事のごとで、節分とお盆に行われます。現在、江戸時代まで神職の詰所であった場所を、この万燈籠の雰囲気を感じていただくために開放しており、真っ暗な空間をほのかに灯す灯籠の光をご覧いただけます。



若宮神社 わかみやじんじや

地図P16

H-6

若宮神社は、春日大社の摂社のひとつで、水を司る神の天押雲根命を祀っています。長雨による疫病や飢饉を鎮めるために始まった「春日若宮おん祭」は、古代の祭りの姿を現代に伝える日本を代表するお祭りの1つです。



写真提供: 春日大社

燈籠 とうろう



境内には、約3,000基の燈籠があるといわれ、直江兼続や宇喜多秀家といった戦国武将も釣燈籠を寄進しています。

春日大社鹿みくい

小さな木彫の鹿が口におみくじをくわえています。



絵馬で縁結び・水占いで運だめし

春日大社の若宮神社近くにある若宮15社のひとつ、夫婦大国社ではハート型の絵馬を奉納したり、水にひたすと結果が浮か出る水占いがあります。



奈良国立博物館

地図P15-16
D-E-4

☎ 050-5542-8600 高校生以下無料

[アクセス] 近鉄奈良駅から奈良交通バスで「氷室神社・国立博物館」下車、徒歩すぐ

[休館日] 毎週月曜日(休日の場合はその翌日。連休の場合は終了後の翌日)、11月11日、年末年始



写真提供: 奈良国立博物館

東大寺、興福寺、春日大社などに囲まれた奈良公園の一角に位置し、展示を通して仏教への信仰が生み出した優れた美術の魅力と、その背景にある豊かな歴史・文化を伝えていきます。1895(明治28)年、東京に次いで2番目の帝国博物館としてオープンしました。奈良に国立の博物館を設立した趣旨は、社寺に伝わる多数の仏像や宝物を博物館で保管し、公開してその価値を広く世間に知らせるとともに、それらの保存に協力することでした。

仏像、仏画、経典、仏教工芸などの収蔵点数は約1,800件を数え、重要な作品が展示されています。寄託品では、飛鳥の岡寺からの木心乾漆造・義淵僧正坐像(国宝)や、元興寺からの木造薬師如来立像(国宝)が目を引きまします。なら仏像館と新館を結ぶ地下回廊にはミュージアムショップやレストランもあり、入館者以外でも自由に利用できます。

なら仏像館・青銅器館

なら仏像館は、1894(明治27)年に完成した奈良で最初の本格的洋風建築です。玄関まわりの装飾は意匠的にすぐれ、明治中期の欧風建築として代表的なものです。1969(昭和44)年に「旧帝国奈良博物館本館」として重要文化財に指定されました。館内には、飛鳥時代から鎌倉時代にいたるまでのすぐれた仏像を数多く展示しています。また中国・朝鮮半島の仏像も展示しており、国内の博物館では、もっとも充実した仏像の展示となっています。渡り廊下でつながれた青銅器館には、中国古代の青銅器を展示しています。



写真提供: 奈良国立博物館

入江泰吉記念 奈良市写真美術館

地図P16
G-7

☎ 0742-22-9811 高校生200円(土曜日無料)、小・中学生100円(土曜日無料)

[アクセス] 近鉄奈良駅から奈良交通バス「破石町」下車、徒歩約10分 [休館日] 毎週月曜日(休日の場合は最も近い平日)、休日の翌日(その日が平日の場合)、年末年始、展示替え期間



写真提供: 奈良市写真美術館

奈良大和路の風景や歴史的文化財を撮り続けた写真家である入江泰吉(1905-1992)の作品を中心に、写真作品の展示と保存・研究活動を行っている専門美術館。8万点にも及ぶ入江の全作品を収蔵するほか、随時テーマを変えて入江作品や、国内外で活躍する写真家を取り上げて紹介しています。

新薬師寺

地図P16
G-7

☎ 0742-22-3736

¥ 中・高校生350円、小学生150円
[アクセス] 近鉄奈良駅から奈良交通バスで「破石町」下車、徒歩約10分



新薬師寺は、747年に聖武天皇の病氣平癒を願った光明皇后が建立しました。かつては七堂伽藍を誇っていました。現在では当時の食堂が本堂として残っています。本尊薬師如来坐像(国宝)とそれを囲む十二神将立像(江戸時代の大地震で壊れた波夷羅大将を除く11体)が国宝に指定されています。



写真提供: 新薬師寺

薬師如来坐像と十二神将立像

本尊薬師如来坐像は、穏やかで力強く、ふくよかな姿をされています。また目を大きく開いた姿が美しいことから、眼病の人が多く参拝しています。十二神将立像は周囲を取り囲んで薬師如来さまを護衛しており、その表情は激しい怒りをあらわしています。この像は我が国最大最古の十二神将です。

志賀直哉旧居

地図P16
F-6

☎ 0742-26-6490

¥ 高校生500円、中学生200円、小学生100円
[アクセス] 近鉄奈良駅から奈良交通バスで「破石町」下車、徒歩約5分 [休館日] 年末年始

志賀直哉

日本近代文学の一派である白樺派を代表する小説家で、『暗夜行路』『城の崎にて』など、多数の名作を残しました。1883(明治16)年、陸前石巻に誕生。2歳のときに東京に移り住んで以来、生涯で20回以上もの転居を経験。奈良市高畑町に住んだ時期は、志賀を慕って武者小路実篤や小林秀雄らが訪れ、「高畑サロン」と呼ばれる文化サロンを形成しました。



写真提供: 奈良学館

文豪志賀直哉が1929(昭和4)年から9年間、家族とともにここで暮らし、1937(昭和12)年に長編小説『暗夜行路』を完成させました。志賀直哉自らが設計した数寄屋造を基調にした家です。二階の客間からは、若草山と御笠山をのぞむことができます。食堂は、白壁の天井、民芸調の照明や造りつけの牛皮ソファなど、美しくモダンな造りになっています。サンルームは、大きく明るいガラス張りの天窗があり、床は「塙」と呼ばれる特注の瓦がしかれています。庭の一角には、子供たちのために造った小さなプールも。



頭塔

地図P16
E-7

☎ 0742-27-9866(史跡頭塔保存顕彰会)

¥ 300円(18歳未満および高校生は無料)
[アクセス] 近鉄奈良駅から奈良交通バスで「破石町」下車、徒歩すぐ



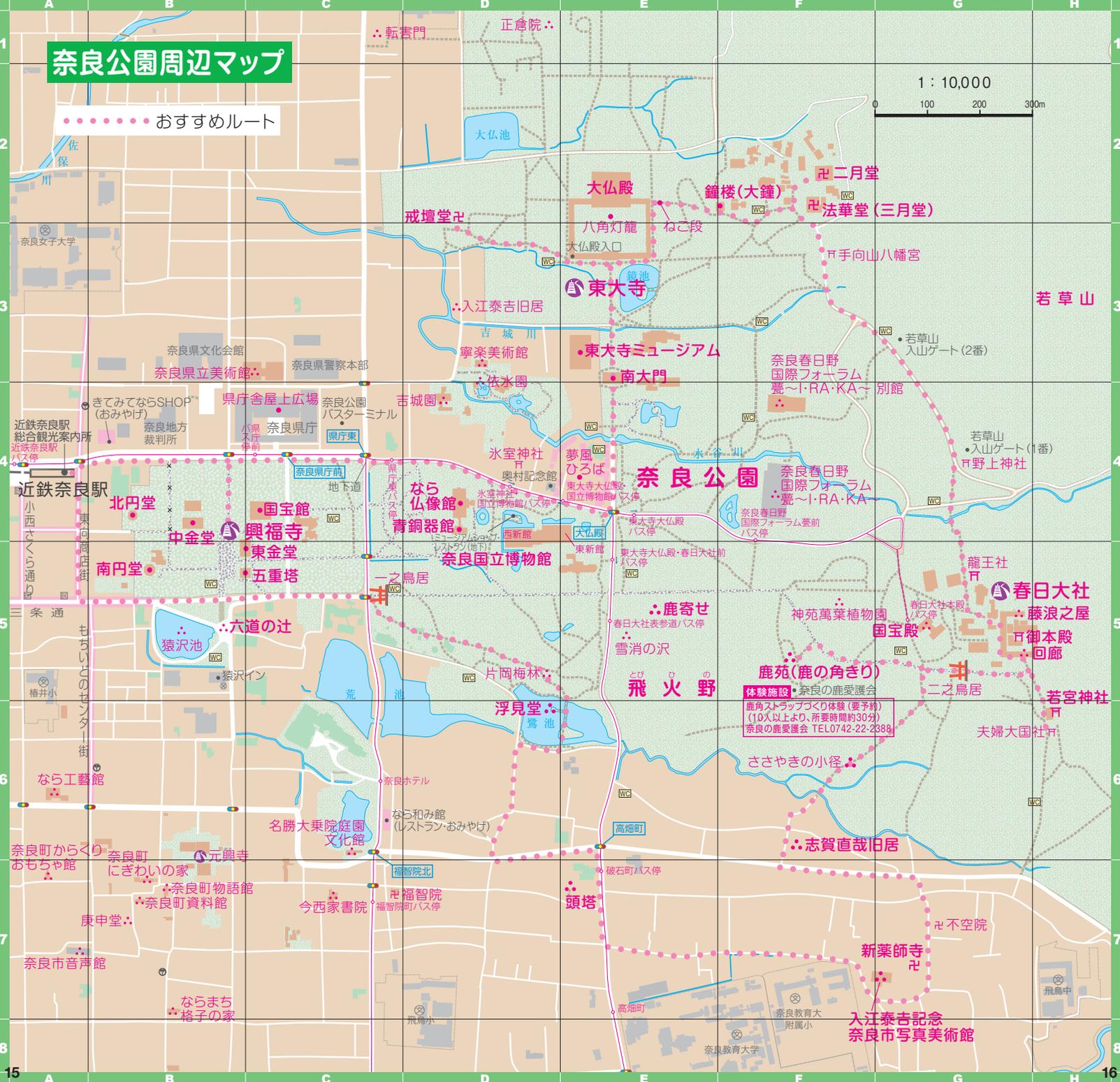
一辺約3.2m、高さ約8m、7段の階段状で、ピラミッドのような形をしています。遣唐使にも同行した学問僧の玄奘の頭を埋めた墓だという伝説が古くからあり、それが名称の由来だとされていました。現在は、本来の名称「土塔」がなかったとする説が有力です。

奈良公園周辺マップ

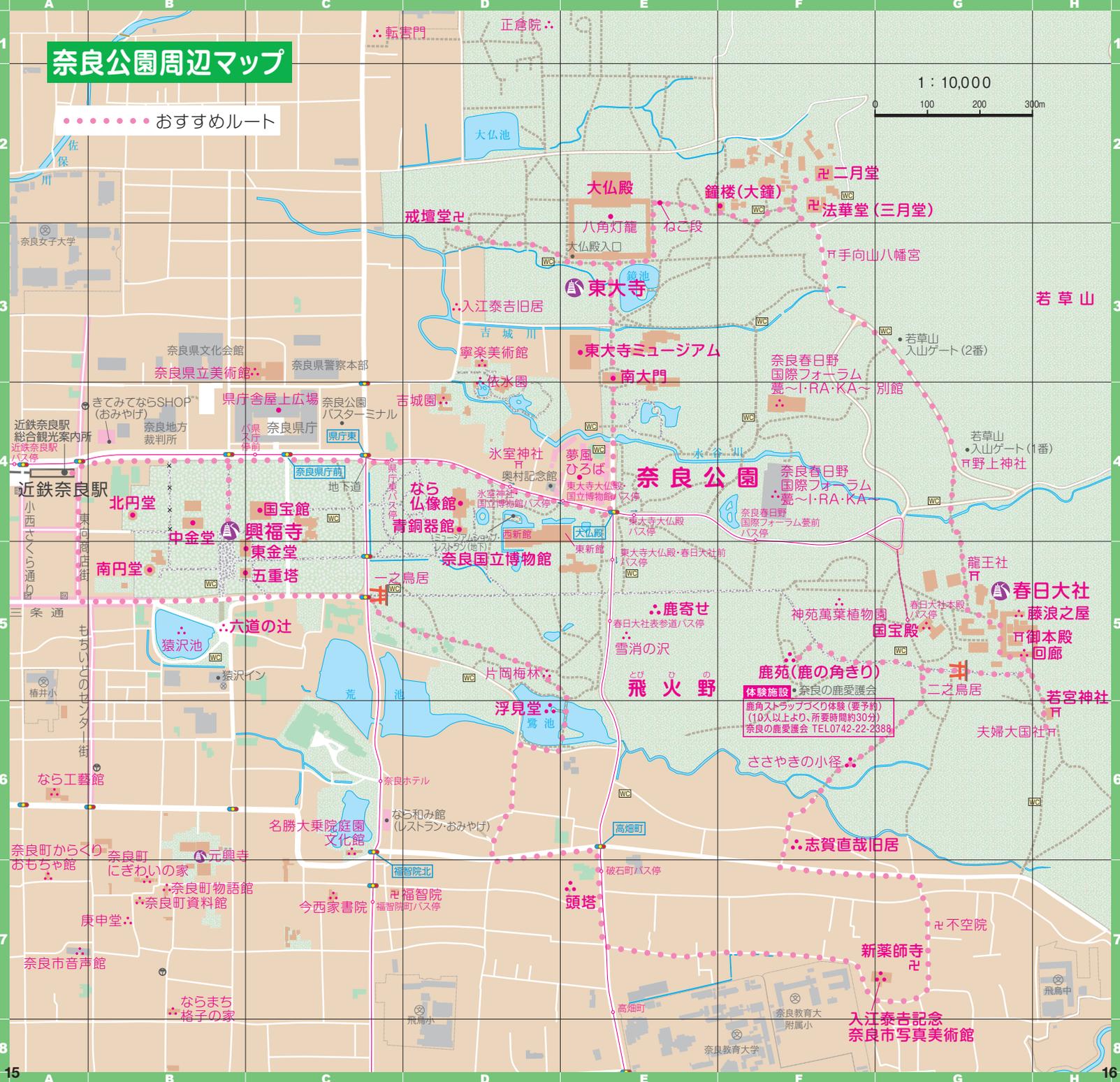
おすすめルート

1 : 10,000

0 100 200 300m



体験施設 奈良の鹿愛護会
鹿角ストラップづくり体験(要予約)
(10人以上より、所要時間約30分)
奈良の鹿愛護会 TEL0742-22-2388





ならまち エリア

ならまちの概要

平城京の
外京にあっ
た元興寺の

旧境内を中心とした地域を「ならまち」と呼んでいます。興福寺や元興寺などの大きな寺の門前町として賑わっていました。江戸時代から昭和初期にかけての町家が立ち並び、タイムスリップしたような懐かしい光景を見せてくれます。

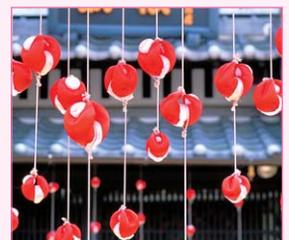


★ **ならまちの大部分は元興寺だった？!**
南都七大寺のひとつに数えられる元興寺は、最盛期には、東西約250m、南北約500mという広大な寺域を有していました。現在の境内をはじめ、ならまちの各所に残る巨大礎石から、その威容が想像されます。



身代り申 みがかりまを

ならまちを歩く目と目に留まる、軒先につるされた赤くてかわいいぬいぐるみが「身代り申」。災難や病気を代わりに引き受けてくれるという魔除けで縁起物です。



写真提供：奈良市観光協会

ならまちの町家 ならまちのまちや



平城京の条坊制の区画の痕跡を残す奈良町には、間口が狭く奥行きが深い細長い敷地に、切妻造・平入りの町屋が建ち並びます。中は、土足のまま奥まで抜けられる土間(通り庭)、それに面して表から順に、みせの間、なかの間、奥の間、中庭を挟んで離れ、蔵と続きます。



元興寺

がん づう じ

地図P22
F-4.5

☎ 0742-23-1377
🚌 中・高校生500円、小学生300円
[アクセス] 近鉄奈良駅より徒歩約15分、奈良交通バスで「福智院町」下車、徒歩約5分
JR奈良駅から徒歩約20分、奈良交通バスで「田中町(ならまち南口)」下車、徒歩約5分

元興寺の概要

「ならまち」の一角にある元興寺は、日本最古の本格的寺院・法興寺を前身とします。平城遷都の際に飛鳥の地から移されました。

本尊は、奈良時代の学僧・智光が夢に見た極楽浄土を描いた智光曼荼羅。本尊を安置している僧坊は、極楽坊として親しまれてきました。現在の極楽堂・禅室は、その僧坊の一部です。金堂や講堂など、伽藍のほとんどを室町時代に焼失し、その焼け跡に広がった街が現在のならまちの原型です。



極楽堂と禅室 ごくらくどうとぜんしつ

平安時代末期に浄土教が盛になると、元興寺の本尊である智光曼荼羅が広く知られるようになります。また、奈良時代に智光が起居したと伝わる僧坊の一室を念仏道場とし、そこは極楽坊と呼ばれるようになりました。1197年ごろに念仏道場は改修拡張され、念仏三昧講の隆盛とともに、元興寺から独立した寺院として発展していくこととなります。やがて、東西に長かった僧坊は、西半分が改築されて禅室となり、東半分も本格的な仏堂として再建されました。庶民信仰の場として親しまれてきた極楽堂と禅室は、国宝に指定されています。

五重小塔 ごじゅうのしょうとう



法館館に安置されている高さ5.5mの五重小塔。内部構造や細部まで忠実に造られており、工芸品ではなく、建造物として国宝に指定されています。

飛鳥時代の瓦 あすかじだいのかわら



極楽堂と禅室の屋根には、前身の法興寺から移設された飛鳥時代の古い瓦が一部使われています。行基葺きという葺きかたをしており、1,300年の時を経て、今なお現役です。



元興寺の「鬼」のおはなし

鐘楼に現れた鬼を退治したという伝承から、元興寺ではさまざまな形で鬼を意匠として取り入れ、節分行事の際のかけ声も「福は内、鬼は内」です。境内の約1,500の石仏群(浄園田)には、江戸時代に元興寺が配布したお札に描かれた鬼の数にちなみ、5体の鬼の像が隠されているので探してみよう。



ならまち 格子の家

地図P22
F-6

☎ 0742-23-4820 無料 [アクセス] JR奈良駅、近鉄奈良駅から市内循環バスで「田中町」下車、徒歩約2分 [休館日] 毎週月曜日(その日が休日の時はその翌日)、休日の翌日(その日が日曜日、土曜日及び休日に当たるときを除く)、年末年始

ウナギの寝床とも表現される、間口が狭く奥行きの長いのが特徴である伝統的な「ならまち」の町家を忠実に再現しています。二階への階段は、空間を無駄なく使う「箱階段」で、収納スペースも確保するなど工夫されています。通りに面した木の格子は、昼間は外から家の中を見えにくくする目隠しの役を果たすと同時に、中からは外がよく見える効果ももっています。通風や採光の役割を果たす中庭、土間の明りとりなどの機能性を学ぶ事が出来ます。昔の町家の生活様式に直接ふれることができる施設です。



ならまち からくりおもちゃ館

地図P22
E-5

☎ 0742-26-5656 無料 [アクセス] JR奈良駅から徒歩約15分、近鉄奈良駅から徒歩約10分 [休館日] 毎週水曜日、年末年始

奈良町の伝統的な町家の空間で、昔ながらのおもちゃに触れて遊ぶことができる体験型の施設です。所蔵するおもちゃは、江戸時代に庶民に親しまれたからくりおもちゃや各地の郷土玩具など合計約600点を数えます。常時30点ほどのおもちゃに触れてあそぶことができます。復元されたおもちゃは、材料は木・竹・和紙・糸など自然素材の特徴を生かし、素朴で大人も子供も楽しめるおもちゃです。数々のおもちゃが語りかける江戸時代の人々の思いを、からくりおもちゃを通して感じてください。

〈おもちゃ体験〉人数が多い場合、要予約



ならまち ものがたりかん 奈良町物語館

地図P22
F-5

☎ 0742-26-3476 無料 [アクセス] JR奈良駅から市内循環バスに乗り、「田中町」下車、徒歩約8分、近鉄奈良駅から徒歩約15分 [休館日] お盆、年末年始



築100年の町家を改修した建物です。ここでは、まちづくりに携わる人々が集い、交流し、いろいろな情報を発信しています。展示・講演・コンサートなどにも活用されています。1995(平成7)年の町家改修の際、床下の一部から、世界遺産元興寺の金堂の礎石が見つかりました。礎石からは、その歴史の一部を垣間見ることができます。

奈良時代の礎石

こうしんどう 庚申堂

地図P22
F-5

☎ 0742-27-2223(奈良市総合観光案内所) 無料 [アクセス] JR奈良駅から徒歩約20分、近鉄奈良駅から徒歩約15分



軒にたくさん「身代り申」をぶら下げた小さなお堂で、地元の人からは「庚申さん」と呼ばれ、親しまれています。ここはならまちに今も息づく庚申信仰の拠点。「庚申堂」と呼ばれ、青面金剛像、吉祥天女像、地藏菩薩像が祀られています。軒先には青面金剛、吉祥天女、地藏菩薩と墨書した赤い提灯がさがり、堂前には、石猿が「青面金剛・吉祥天」と記された線香立てを支え、屋根の上には「見ざる、言わざる、聞かざる」の三猿像が並んでいます。「身代り申」は、奈良町資料館で手作り販売しています。

ならまち いえ 奈良町にぎわいの家

地図P22
F-5

☎ 0742-20-1917 無料 [アクセス] JR奈良駅から徒歩約20分、近鉄奈良駅から徒歩約13分 [休館日] 毎週水曜日(祝日の場合を除く・その他臨時休館の場合あり)、年末年始

大正期に建てられた美術商の屋敷を復元改修し、一般公開している100年の町家です。表屋をくぐり玄関に入ると正面に茶室、左手に四つの座敷がつづきます。15帖の座敷にある広い仏間の格天井や江戸時代の蔵も注目ポイントです。座敷から庭を愛でながら、ゆったりとした時間を過ごしてください。薪でご飯を炊き味噌汁を作る「かまど炊飯体験」や「体験茶会」(いずれも要予約)も実施しています。



かまど炊飯体験
500円、要予約
(所要時間約15分)

めいしょうだいじょういんていえんぶんかん 名勝大乗院庭園文化館

地図P22
H-4

☎ 0742-24-0808 名勝旧大乗院庭園入園料 高校生200円、小・中学生100円 [アクセス] JR奈良駅から徒歩25分、近鉄奈良駅から徒歩約15分 [休館日] 月曜日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日(土日を除く)、12月26日~1月5日

興福寺の門跡寺院、大乗院の庭園跡で、平安時代に造営され、室町時代に活躍した作庭の名手、善阿弥が復興築造したと伝わる庭園です。2010(平成22)年4月より公開を開始されました。その一角に建てられた「名勝大乗院庭園文化館」は、元興寺を中心とするならまち界わいと志賀直哉旧居などのある高畑界わいをつなぐ地域に立地し、歴史的文化遺産に親しむ施設として、観光客や市民に開放されており、ならまち観光の憩いの場として利用できます。



ならまち周辺マップ

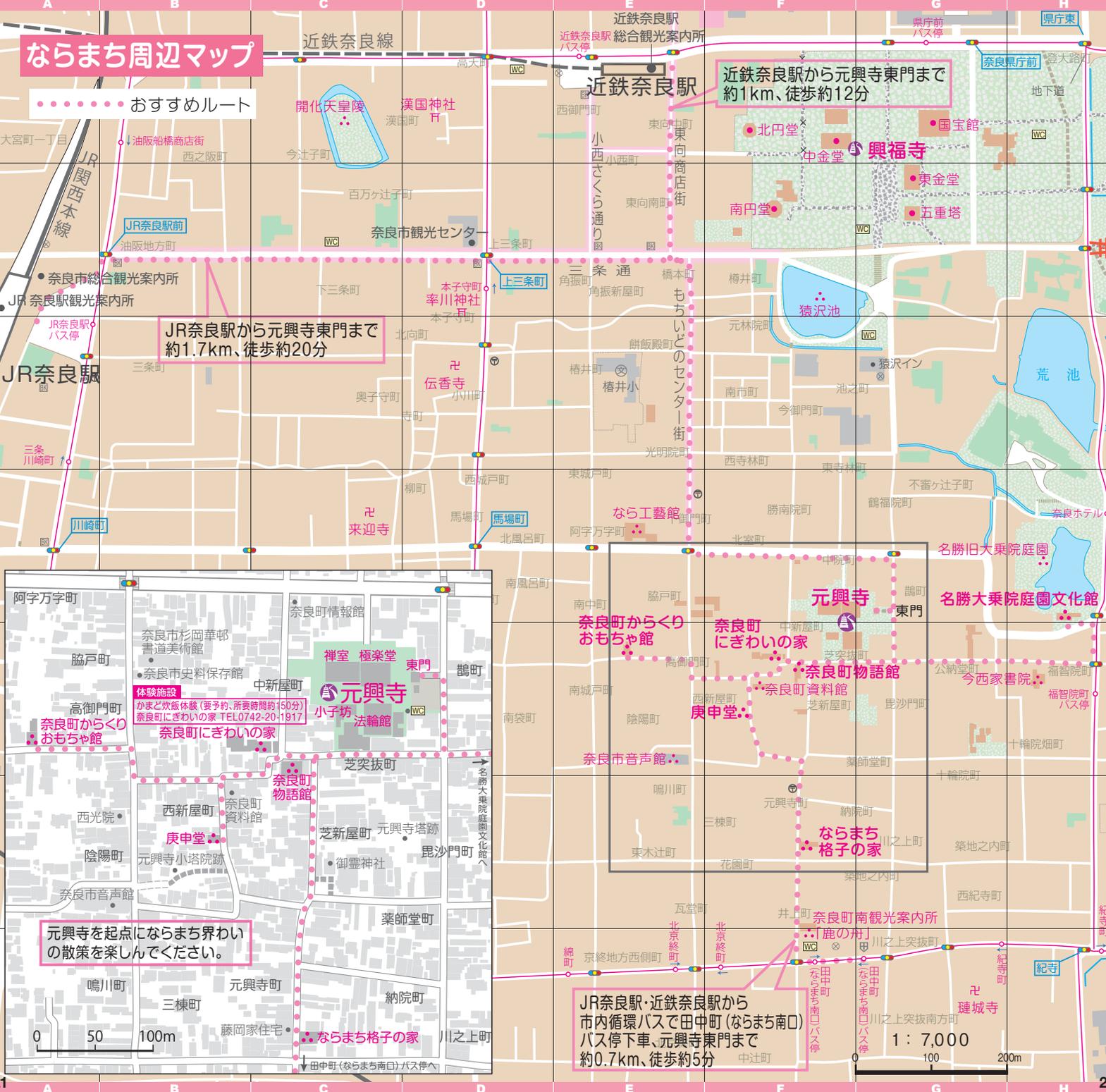
..... おすすめルート

JR奈良駅から元興寺東門まで
約1.7km、徒歩約20分

近鉄奈良駅から元興寺東門まで
約1km、徒歩約12分

元興寺を起点にならまち界わいの
散策を楽しんでください。

JR奈良駅・近鉄奈良駅から
市内循環バスで田中町(ならまち南口)
バス停下車、元興寺東門まで
約0.7km、徒歩約5分



平城宮跡 エリア

平城宮跡とは

平城京は、今からおよそ1,300年前、710年に唐の長安をモデルにして造営された日本で初めての本格的な都です。奈良時代、中国をはじめ東アジア諸国との交流を深め、国際都市として栄えました。また、遣唐使によって、優れた技術、学問、仏教などが数多くもたらされ、その結果、仏像彫刻や高度な木造建築物等、天平文化が開花しました。その中心地である平城宮の大きさは、およそ1km四方で、面積は124haです。街の中央を貫くメインストリート朱雀大路は、幅約74mあったといわれています。



画像提供：平城京歴史館（画像製作：凸版印刷株式会社）

第一次大極殿

地図P26
D-2

☎ 0742-32-5106（文化庁平城宮跡管理事務所） ¥無料 [アクセス] 近鉄大和西大寺駅南口から徒歩約20分
【休館日】月曜日（月曜が祝日の場合はその翌平日）、年末年始（12月29日～1月3日）

正面およそ44m、側面およそ20m、地面より高さおよそ27m、屋根瓦9万7千枚を使った平城宮最大の建物です。平城京造営当初から約30年間、一時恭仁京に遷都されるまで、平城京の中心的役割を果たしました。大極殿前の広場では、新年の行事や、天皇の即位式、外国使節との面会など大事な儀式が行われました。



朱雀門

地図P26
D-4

☎ 0742-32-5106（文化庁平城宮跡管理事務所） ¥無料 [アクセス] JR奈良駅・近鉄奈良駅から奈良交通バスで「朱雀門ひろば」下車、すぐ
【休館日】月曜日（月曜が祝日の場合はその翌平日）、年末年始（12月29日～1月3日）

メインストリート朱雀大路に面しており、まさに平城宮の正面玄関でした。門前では外国使節の送り迎えをしたり、新年のお祝いをするなど、儀式に使われることもありました。また、大勢の人達が集まって歌い合う歌垣なども行われたということです。



平城宮跡歴史公園 ～朱雀門ひろば～

地図P26
D,E-4

【アクセス】

- ・近鉄大和西大寺駅南口から、徒歩約20分
- ・近鉄奈良駅・JR奈良駅から奈良交通バスで「朱雀門ひろば前」下車、すぐ

【交通ターミナル】 普通車42台、バス20台

朱雀門南側のエリアについて、奈良県と国土交通省が連携し、「奈良時代を今に感じる」歴史公園の正面玄関として、「朱雀門ひろば」を整備しました。平城宮跡の魅力をお伝えする展示館、レストランやカフェがあり、集合拠点として活用いただけます。



- ④ 天平みはらし館
- ⑤ 天平つどい館
- ① 平城宮いざない館
- ② 天平うまし館
- ③ 天平みつき館

① 平城宮いざない館

☎ 0742-36-8780（平城宮跡管理センター） ¥無料
【休館日】2月・4月・7月・11月の第2月曜日
（祝日の場合は翌日）、12月29日～1月1日

映像や模型の他、実際に手で触れるなどの体験的展示や出土品・資料のよみとぎを通じて、平城宮跡をより深く理解することができるガイダンス施設です。往時の平城宮や平城京の姿を分かりやすく学ぶことができ、平城宮跡の多彩な魅力を発見することができる空間となっています。



② 天平うまし館

【休館日】年中無休

カフェ・レストランを併設。遣唐使船の歴史解説コーナーを経て、復原遣唐使船に実際に乗り込み見学することができます。

③ 天平みつき館

【休館日】年中無休

県内の観光情報を提供する観光案内所の他、県内の特産品や、平城京ゆかりの物品などを販売しています。

④ 天平みはらし館

【休館日】月曜日（祝日の場合は翌平日休）、年末年始
展望デッキや展望室から平城宮跡の眺望が楽しめます。平城宮跡や奈良時代を映像で学べるVRシアターやレンタサイクル貸出所があります。

⑤ 天平つどい館

【休館日】年中無休

団体客の集合スペース。各施設の利用案内などの情報提供を行います。

☎ 0742-35-8201（平城京魅力創造プロジェクト） ¥無料

西大寺

地図P25
A-2

☎ 0742-45-4700 ㊟【本堂、愛染堂、四王堂】中・高校生600円、小学生400円
【アクセス】近鉄大和西大寺駅南口から徒歩約3分



写真提供：奈良市観光協会

764年に称徳天皇の発願により、創建されました。当時は広大な寺域に多数の堂塔が建ち並び、東の東大寺に対する西の大寺として栄えていました。平安時代に衰退しましたが、鎌倉時代に叡尊上人により復興しました。叡尊上人が、正月に大切な法要を無事にすませたお礼に西大寺の鎮守八幡宮に茶を献じ、その余服を集まった人びとに分け与えたのが大茶盛式の始まりと言われています。直径40cmほどの大茶碗でお茶を回し飲みする大茶盛式をぜひ体験してください。

東院庭園

地図P26
F-3

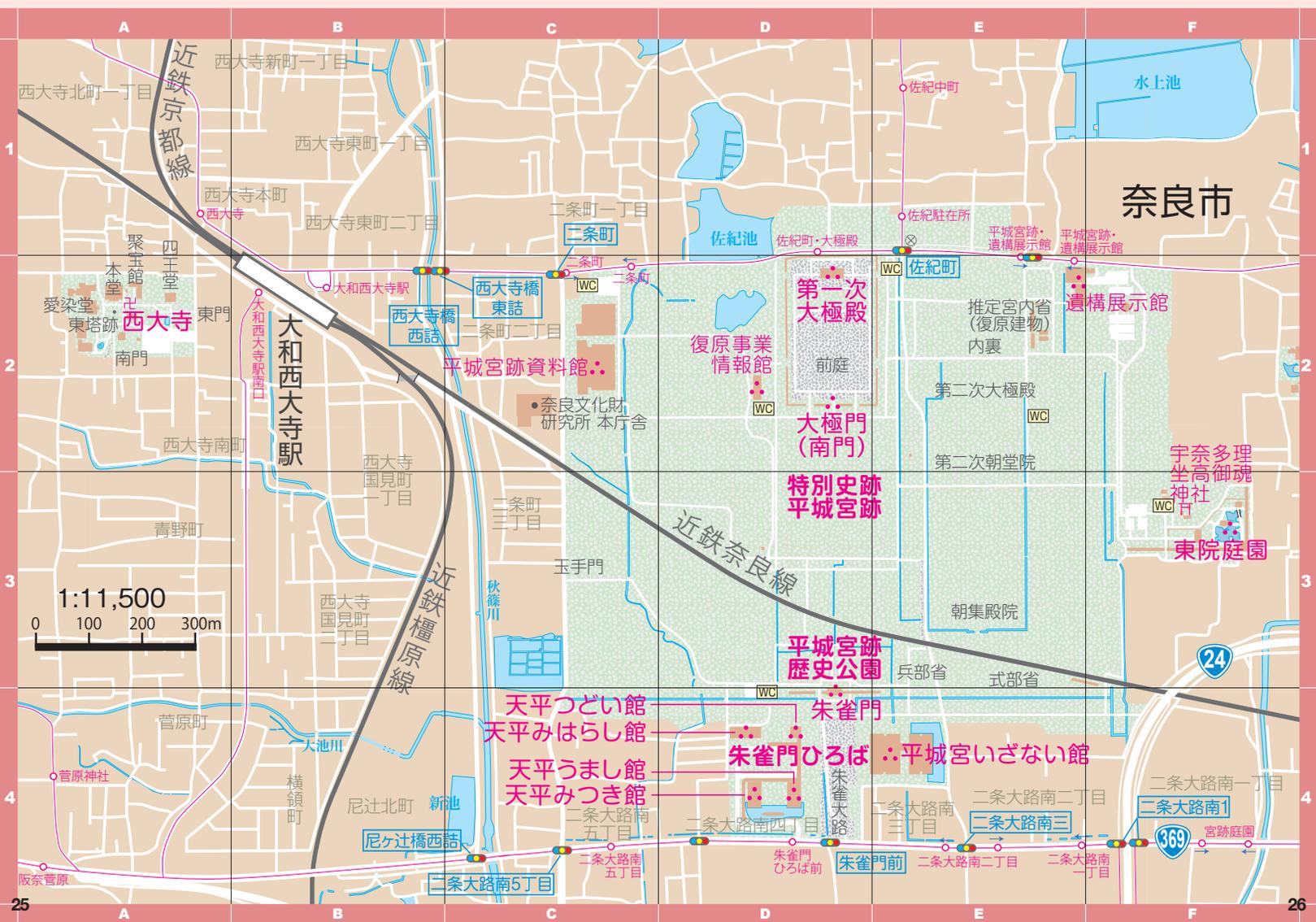
☎ 0742-32-5106(文化庁平城宮跡管理事務所) ㊟ 無料
【アクセス】近鉄大和西大寺駅北口から奈良交通バスで「平城宮跡・遺構展示館」下車、徒歩約10分
【休館日】月曜日(月曜が祝日の場合はその翌日)、年末年始



撮影：矢野建彦 提供：奈良市観光協会



奈良時代、この場所で貴族たちによる宴会が開かれていたと伝わっています。この庭園は、今日の日本庭園のもとになったと言われています。



西の京 エリア

薬師寺

0742-33-6001
 地図P28 金堂、大講堂、東院堂
 中・高校生600円、小学生200円
 D,E-1,2,3 [アクセス]近鉄西ノ京駅から徒歩すぐ

薬師寺の概要

680年、天武天皇は最愛の妻である皇后の病氣平癒を願って、飛鳥の地に薬師寺の建立を始めましたが、完成を見ることなく686年に崩御されました。

一方、病から回復した皇后は、天武天皇の跡を継いで持統天皇となり、薬師寺を完成させました。718年に現在地に移転したとされます。



写真提供:薬師寺



写真提供:薬師寺

薬師三尊像

金堂には、本尊の薬師三尊像が安置されています。薬師如来を中央に、向かって右が日光菩薩、左が月光菩薩。白鳳文化の最高傑作として知られ、国宝に指定されています。



写真提供:薬師寺

玄奘三蔵院伽藍

インドから唐に経典を持ち帰った玄奘三蔵(三蔵法師)の遺徳を称える伽藍。玄奘塔には、1942(昭和17)年に中国で発見された玄奘の頭の骨が祀られています。

お釈迦さまの足跡「国宝・仏足石」

大講堂に祀られている、大きな岩の上面に線彫りで刻まれたお釈迦さまの足跡です。インドにあった仏足跡を唐の役人が写し帰り、長安にあったものを遣唐使がさらに写したものが平城京に伝わり753年に刻まれたもので、日本最古の仏足石です。土踏ますがない足跡は、平等を表しているとか。



写真提供:薬師寺

唐招提寺

地図P28
A,B-1,2

0742-33-7900
 中・高校生400円、小学生200円
 国宝鑑真和上御開帳
 中・高校生400円、小学生300円
 新宝蔵 小・中・高校生100円
 [アクセス]近鉄西ノ京駅から徒歩約10分

唐招提寺の概要

日本の要請を受けて754年に唐から日本に渡った鑑真和上は、759年に唐招提寺を創建しました。

金堂は、現存する奈良時代金堂建築として唯一のもので、井上靖の小説「天平の甕」のモデルになったことでも有名です。



金堂の三尊像

金堂には、本尊の盧舎那仏坐像を中心に、向かって右に薬師如来立像、左に千手観音立像が安置されています。この三尊の組み合わせは、唐招提寺だけに見られるものです。



鑑真和上

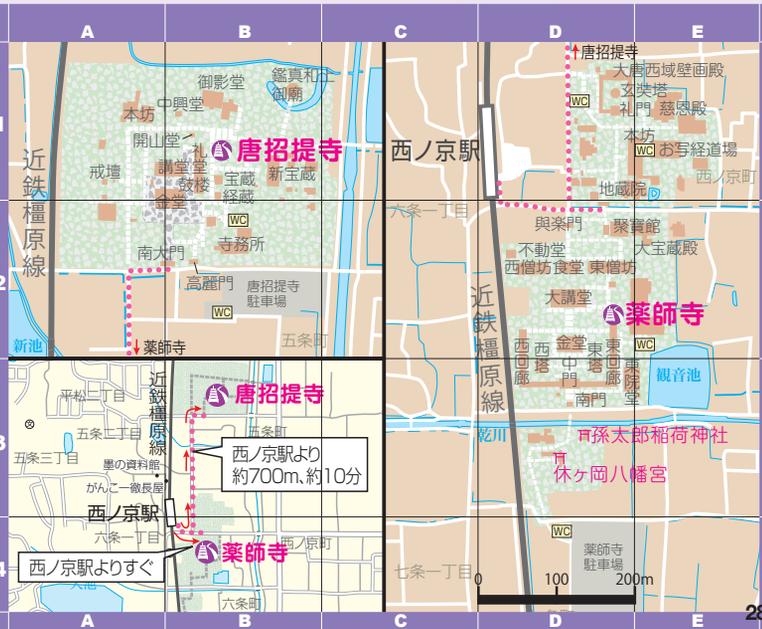
唐の高僧であった鑑真は、仏教を伝えるために渡日を決意。12年の歳月を費やし、5度の失敗の苦難により失明されましたが、6度目にして渡海に成功しました。754年、鑑真67歳のときでした。2013(平成25)年に「御身代わり像」が造られ、開山堂に安置され、毎日参拝することができます。



写真提供:唐招提寺

本当に腕が千本ある?

千手観音立像には、大脇手42本、小脇手911本、合わせて953本も腕があります。腕は、バランスよく配されていて、不自然さを感じさせません。高さ5.4mの堂々としたお姿です。





斑鳩 エリア

斑鳩の里

写真提供: 飛鳥園

うまやどのおうじ
聖徳太子(厩戸皇子)が斑鳩に宮を造営したのは約1,400年前のこと。斑鳩の里には、太子が創建し、仏教文化の当時の姿を現代に伝える法隆寺や、母の菩提を弔うために太子が建立したといわれる日本最古の尼寺・中宮寺など、太子ゆかりの寺社が数多く存在します。特に多大な国宝・重要文化財を擁する法隆寺は、世界文化遺産に登録されていることからわかるように、わが国のみならず、世界的にたいへん貴重な存在です。ほかに、埋葬者が未だ謎に包まれている藤ノ木古墳、紅葉の名所として名高い竜田川など、斑鳩は、濃密な歴史や文化、豊かな自然に触れられるエリアです。

法隆寺

地図P31-32
B,C,D-1,2

☎ 0745-75-2555
¥ 西院伽藍内、大宝蔵院、東院伽藍内共通
高校生2,000円、中学生1,700円、小学生1,000円
[アクセス]JR法隆寺駅から奈良交通バスで
「法隆寺参道」下車、すぐ

法隆寺の概要

法隆寺は、飛鳥時代の姿を現代に伝える世界最古の木造建築群として広く知られています。金堂と五重塔を中心とする西院伽藍、夢殿を中心とする東院伽藍に分かれ、広さ約18万7,000m²の境内には各時代の粹を集めた建築物が軒を連ねています。また、法隆寺には数多くの宝物があり、国宝・重要文化財に指定されたものだけでも約190件、点数にして約3,000点余りにも及びます。

1993(平成5)年12月には、ユネスコの世界文化遺産に日本で初めて登録されるなど、世界的な仏教文化の宝庫として、人々の注目を集めています。

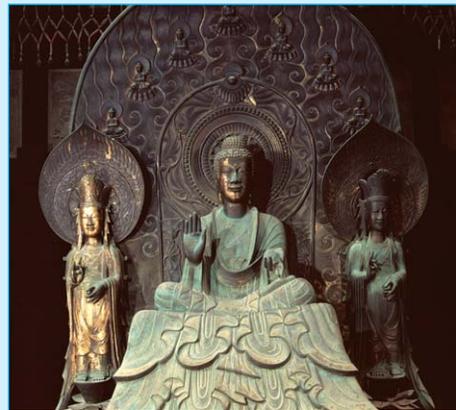
聖徳太子(厩戸皇子)

第31代の用明天皇の第2子で、母は欽明天皇の皇女である穴穂部間人皇后。推古天皇のもと、冠位十二階や十七条憲法の制定、遣唐使派遣など、中央集権国家体制の確立や仏教の興隆に尽力しました。

西院伽藍 さいいんがらん

地図P31
B,C-1

●金堂
国宝に指定されており、この建物の中には、聖徳太子のために造られた釈迦三尊像、母穴穂部間人皇后のために造られた阿彌陀如来座像、樟で造られたわが国最古の四天王像(いずれも国宝)などが安置されています。



写真提供: 飛鳥園

●五重塔
わが国最古の五重塔で、高さは約32.5m。最下層の内陣には、奈良時代のはじめに造られた塑像群があり、97体の塑像(うち80体が国宝)が納められています。

東院伽藍 とういんがらん

地図P32
D-1

●夢殿
法隆寺の僧・行信が聖徳太子の遺徳を偲んで739年に建立した伽藍を上宮主院といい、その中心となる建物が夢殿です。夢殿は、中門を改造した礼堂と舍利殿・絵殿、これらをつなぐ回廊に囲まれ、観音の化身と伝えられる太子を供養するための建物として、それにふさわしい神秘的な雰囲気を漂わせています。



写真提供: 飛鳥園

聖徳太子の愛馬 黒駒

献上された馬の中から漆黒の体と真っ白な脚を持つ1頭の馬を見つけた太子は、「これは神馬だ」と言われました。以来、黒駒は太子の愛馬として長く仕えることになります。

太子は黒駒にのり、斑鳩と飛鳥を結び片道約20kmの道を通ったそうで、この道は「太子道」と呼ばれています。また、太子はこの馬で空を駆け巡ったという伝説があります。



写真提供: 飛鳥園

●大宝蔵院
多数の寺宝を安置する施設で、1998(平成10)年に落成。3体の観音菩薩立像(百済観音、九面観音、夢違観音)や地蔵菩薩立像のほか、もとは金堂に安置されていた玉虫厨子や阿彌陀三尊像及び厨子(橋夫人厨子)などを収蔵しています。上記の仏像と厨子はいずれも国宝です。なお、国宝に指定されている地蔵菩薩立像は、法隆寺のものが唯一です。

西里の町並み

法隆寺の西大門を出ると、細い一本道に土壁の閑静な家並みがつぎます。西里と呼ばれるこの地域は、かつて法隆寺の建立や修理などをおこなった大工集団が住んでいたといわれています。



ちゅうぐう じ
中宮寺

地図P32
D-1

☎0745-75-2106 ㊦中・高校生600円・小学生300円
[アクセス]法隆寺西院伽藍から徒歩約8分

聖徳太子が母、穴穂部間人皇后のために建てた住まいを寺にしたと伝わる尼寺。飛鳥彫刻の傑作である本尊の菩薩半跏像(国宝)は、モナリザ、スフィンクスと並ぶ世界三大微笑像の一つとされています。

本堂では太子の妃橘大郎女が太子の冥福を祈って、死後の世界(天寿国)の様子を采女らとともに刺繍したことで知られる現存する最古の刺繍作品、天寿国曼荼羅繡帳(国宝)(展示は複製)も見ることができます。



写真提供:飛鳥園
モナリザに並ぶ世界三大微笑像



ほうりん じ
法輪寺

地図P32
E-1

☎0745-75-2686 ㊦中・高校生400円・小学生200円
[アクセス]法隆寺から徒歩約30分、近鉄郡山駅・近鉄高井駅・JR大路線王寺駅から奈良交通バスで「中宮寺前」下車、徒歩約15分

622年、父聖徳太子の病氣平癒を願った山背大兄王によって建立されたと伝えられています。法隆寺、法起寺とともに斑鳩三塔として、美しさを称讃された三重塔は1944(昭和19)年の落雷による焼失後、1975(昭和50)年に復元されました。講堂には本尊薬師如来坐像(重要文化財)や虚空蔵菩薩立像(重要文化財)などが側面や背面からも間近に見られます。



ほうき じ
法起寺

地図P32
F-1

☎0745-75-5559 ㊦高校生500円、中学生400円、小学生300円 [アクセス]法隆寺から徒歩約30分、「法隆寺前」から春日大社本殿行きバスで「法起寺前」下車、すぐ



周辺はコスモスの名所

“世界遺産”法起寺は、聖徳太子の岡本宮を寺に改めたものと伝えられ、法隆寺、四天王寺、中宮寺などとともに、太子建立七ヶ寺の1つに数えられています。三重塔(国宝)は現存する日本最古の三重塔です。また収蔵庫には、本尊の十一面観音菩薩立像が安置されています。

ふしのき にほんのこころを伝える
藤ノ木古墳・斑鳩文化財センター

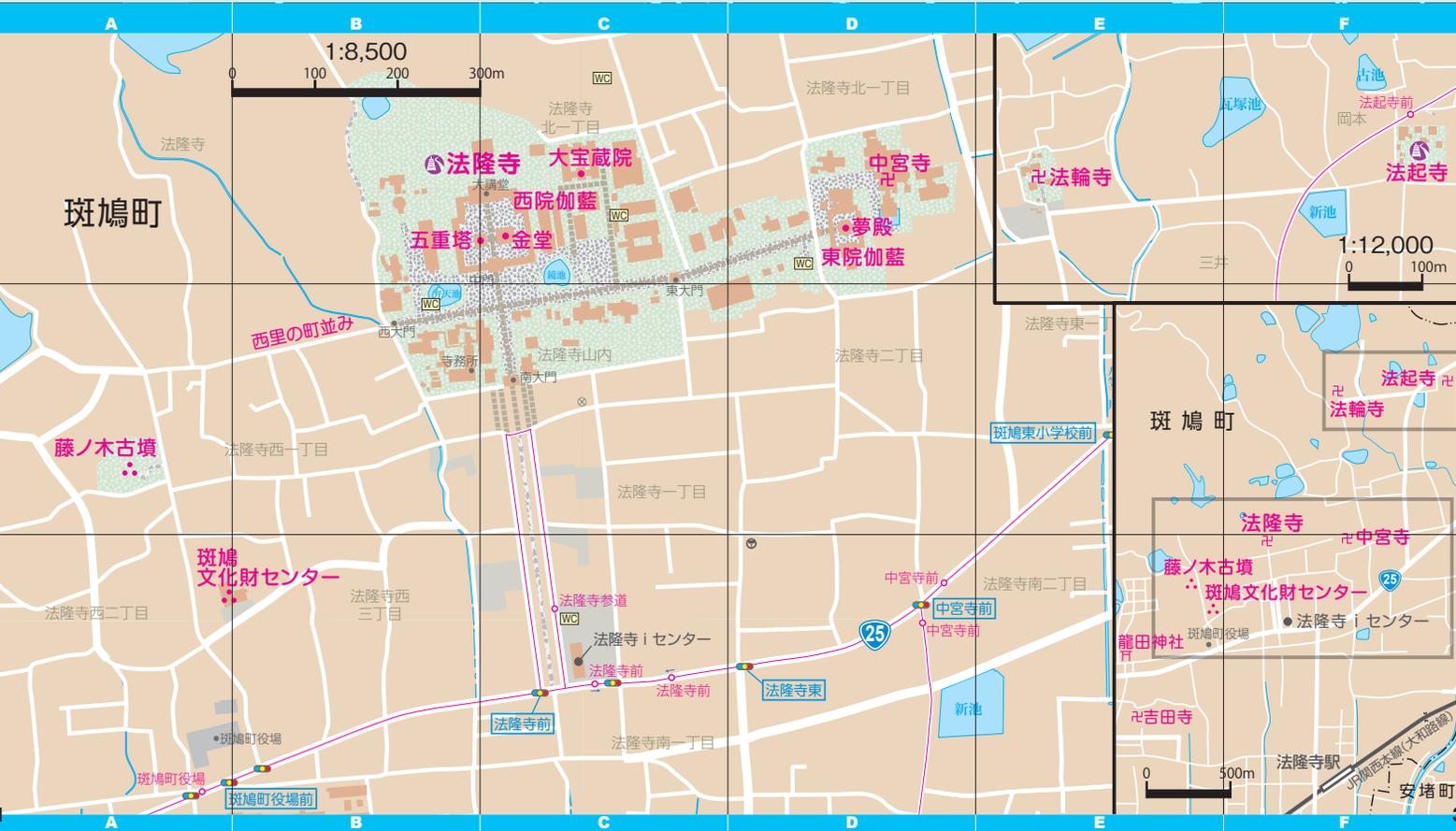
地図P31
A-2,3

☎0745-70-1200 ㊦無料(特別展は有料の場合あり)

[アクセス]法隆寺から藤ノ木古墳まで徒歩約6分、斑鳩文化財センターまで徒歩約6分 [休館日]毎週水曜日(祝日および特別展開催中は開館)、年末年始



直径約50m以上の6世紀後半の円墳。昭和60年代の発掘調査で、石室内から豪華な馬具、未盗掘の石棺内から2体の被葬者とともに、冠や大刀などが発見され、大きな話題となりました。ガラス窓越しに、石室内の様子を見ることが出来ます。また、斑鳩文化財センターは、藤ノ木古墳の案内を行う施設としてだけでなく、文化財の調査・研究及び情報発信の拠点。展示室では、藤ノ木古墳の出土品の複製品が鑑賞できます。映像ホールでは、藤ノ木古墳や斑鳩の歴史と文化について、わかりやすく学習できます。



飛鳥・橿原 エリア



飛鳥・橿原の概要

日本の政治や文化の礎が築かれた地、飛鳥。飛鳥地方は藤原京・平城京に遷都する前のおよそ100年間、古代政治の中心地として栄えた場所です。

飛鳥時代は、天皇を中心とした中央集権的な国家体制が確立していく時期であり、また、推古天皇の時代には飛鳥文化が、天武天皇と持統天皇の時代には白鳳文化が開花しました。橿原は、694年に条坊制による碁盤目の市街地を持つ日本初の計画都市・藤原京が建設された地です。藤原京は、都が平城京に移転するまで、16年間にわたり日本の中心でした。

あすかであら 飛鳥寺

地図P38
E-2

☎ 0744-54-2126

☎ 中・高校生300円、小学生250円

[アクセス] 近鉄橿原神宮前駅東口から明日香周遊バス「飛鳥大仏前」下車、すぐ



日本最古の仏像!

596年、仏教を保護した蘇我馬子が創建した日本初の本格的寺院です。創建当時、法興寺、元興寺とも呼ばれていました。平城遷都に伴い奈良の地に新たに元興寺が建立されて以後は、本元興寺と呼ばれました。五重塔や3つの金堂を持つ壮大な伽藍で、およそ20年の歳月をかけ、造られたといわれています。本尊は、止利仏師の作と伝わる日本最古の仏像・釈迦如来像。通称・飛鳥大仏。幾度となく火災に遭い、後の時代に補修が行われていますが、お顔などに当初の姿を伝えています。



いし ぶ たい こ ぶん 石舞台古墳

地図P38
F-5

☎ 0744-54-3240 (一般財団法人飛鳥観光協会) ☎ 小・中・高校生100円
[アクセス] 近鉄橿原神宮前駅から奈良交通明日香周遊バスで「石舞台」下車、すぐ



写真提供: 明日香村教育委員会

飛鳥のシンボリックな史跡である石舞台古墳。古墳時代後期から終末期に造られたと推定されています。日本最大級の横穴式石室をもち、30数個の石の総重量は、およそ2,300トン、最大の天井石はおよそ77トンともいわれています。これらの石は、木のソリにのせ、丸太の上を滑らせながら、たくさんの人々で引っ張ったと考えられています。6世紀後半に権力を振った蘇我馬子の墓であるという説が有力です。今は、盛り土が失われていますが、かつては、二段築成の方墳だったことがわかっています。

たか まつ づか こ ぶん へき が かん 高松塚古墳・壁画館

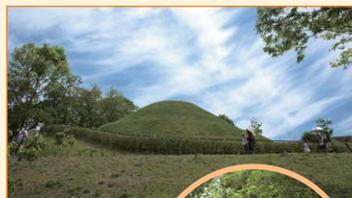
地図P37
E-6

☎ 0744-54-3340 (高松塚壁画館) ☎ 高校生130円、小・中学生70円

[アクセス] 近鉄飛鳥駅から徒歩約15分

[休館日] 高松塚壁画館12月29日～1月3日、4・7・11・2月の第2月曜日(祝日の場合は翌日)

7世紀末から8世紀初頭にかけて造られた終末期古墳で、高さ5m、下段直径23m、上段直径18mの二段築成円墳です。1972(昭和47)年に彩色壁画(国宝)が発見され、一躍有名になりました。中でも西壁面の女子群像は「飛鳥美人」の愛称で親しまれています。およそ1300年前の壁画が残ったことは奇跡で、当時の人々の美しい衣装を知ることができます。現在、壁画は文化庁による保存管理が行われていますが、古墳に隣接する壁画館では、石室の原寸模型や壁画の忠実な模写、副葬品の模型などを展示しています。



壁画、飛鳥美人(模写)に会える!



こ ぶん キトラ古墳・ 壁画体験館四神の館

地図P38
D-6

☎ 0744-54-5105 (キトラ古墳壁画体験館四神の館)

[アクセス] 近鉄壱飯山駅から徒歩約12分、近鉄飛鳥駅から徒歩約22分

[休館日] キトラ古墳壁画体験館四神の館12月29日～1月3日、4・7・11・2月の第2月曜日(祝日の場合は翌日)



写真提供: 奈良文化財研究所

キトラ古墳は、7世紀末～8世紀初頭頃に造られたと考えられる2段の墳丘からなる小円墳。1983年に極彩色の壁画が発見され、注目を浴びました。石室内には天の四方を司る神獣で、四周の壁面に対応する方位に合わせて描かれた四神や十二支、天文図などが描かれています。日本で四神の図像などが揃う古墳壁画は、キトラ古墳壁画のみです。2016年に開館したキトラ古墳壁画体験館四神の館は、古墳と壁画をわかりやすく楽しんで学べる体感型施設。キトラ古墳や背景となる時代の基礎知識を得て実物を見ることで、壁画をより興味深く鑑賞することができます。

たちばな ぐら

橘寺

地図P38
D-4

☎ 0744-54-2026 料 中・高校生300円、小学生200円
【アクセス】近鉄飛鳥駅または近鉄橿原神宮前駅から
明日香周遊バスで「川原」または「岡橋本」下車、徒歩約3分



聖徳太子生誕の地といわれ、太子建立の七ヶ寺の一つとされています。聖徳太子が生まれた時、この場所には橘の宮という太子の祖父である欽明天皇の宮殿の一つがありました。太子は橘の宮にあった馬小屋で生まれたことから、厩戸皇子と呼ばれました。本堂である太子殿には、ご本尊の聖徳太子座像が安置されています。本堂前の馬の銅像は、黒駒という名の太子の愛馬で、太子は、この馬で空を駆け巡ったという伝説があります。

岡寺

地図P38
F-3

☎ 0744-54-2007 料 中・高校生400円、小学生以下無料
【アクセス】近鉄飛鳥駅または近鉄橿原神宮前駅から
奈良交通バスで「岡寺前」下車、徒歩約10分



およそ1,300年前に天智天皇の勅願により建立され、いまでは紅葉の名所として知られています。本尊の如意輪観音座像は塑像、いわゆる土でできた仏像として日本最大。弘法大師が日本、中国、インドの土で作ったという言い伝えがあります。岡寺は正式には、龍に蓋をする寺と書いて「龍蓋寺」といい、創建した僧侶が村を荒らす龍を池に封じ込めたという伝説があります。日本最初の厄除け霊場として、今も信仰を集めています。

甘樫丘

地図P38
D-2

☎ 0744-54-2441 (飛鳥管理センター)
【アクセス】近鉄橿原神宮前駅から奈良交通バスで
「甘樫丘」下車、徒歩約10分



標高148mの緩やかな丘で、古くは『日本書紀』にもその記述がみられます。7世紀前期には当時の有力者であった蘇我蝦夷、入鹿親子が大邸宅を構えていた場所であるともいわれています。頂上の展望台からは、大和三山といわれる耳成山、畝傍山、香久山や明日香村の美しい風景が一望できます。付近一帯は歴史公園として整備され、遊歩道沿いでは季節の草花や、さまざまな万葉植物がみられます。

あすか きゅうせき ぐら あすかいたぶきのみやあと

飛鳥宮跡(伝飛鳥板蓋宮跡)

地図P38
E-3

☎ 0744-54-3240 (一般社団法人飛鳥観光協会)
【アクセス】近鉄飛鳥駅または近鉄橿原神宮前駅から明日香周遊バスで「岡橋本」下車、すぐ



以前は「伝飛鳥板蓋宮跡」と呼ばれ、皇極天皇の宮殿跡で、645年、乙巳の変の舞台となった場所であると言われています。継続的な発掘調査の結果、この場所は複数の宮が継続的に置かれていたことが判明し、2016年に、名称が「飛鳥宮跡」に改められました。現在地表にある石敷の広場や石組の大井戸は、飛鳥浄御原宮の遺構の一部として、復元整備されたものです。

飛鳥の不思議な石

☎ 0744-54-3240 (一般社団法人飛鳥観光協会)
料 亀形石造物(文化財保存協力金) 高校生300円、中・小学生100円
地図P37 地図P38 地図P38
亀石 C-4 亀形石造物 E-3 酒船石 E-3



写真提供: 明日香村教育委員会

飛鳥には、誰が、なぜつくったのかわからない謎の石造物が数多くあります。たとえば、ほほえむような、やさしい表情が人気の亀石。亀石が西を向くと大和の国一帯が泥の海に沈むといわれています。また、亀形石造物は、斉明天皇と関わりがあり、身を浄める場所などという説があります。亀形石造物の近くにある酒船石は、お酒や油を作る道具だったといわれています。

奈良県立 万葉文化館

地図P38
E-2

☎ 0744-54-1850 料 入館無料・展覧会観覧のみ有料 ※学校行事で利用の場合 観覧無料(事前申請要)
【アクセス】近鉄飛鳥駅または近鉄橿原神宮前駅から明日香周遊バスで「万葉文化館西口」下車、すぐ
【休館日】毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日の平日)、展示替日、年末年始

万葉集を中心とした古代文化に関する総合的な拠点。古代文化の魅力や、万葉日本画、人形、映像、ジオラマなど視覚的にわかりやすく紹介。見て、感じて、体感して学べる。万葉集に関する情報提供や図書・情報室も併せ持つとともに、遺跡と共存する施設。万葉の草木を植栽した万葉庭園もある。また、古代文化に関する講演会や学芸員による列品解説、万葉衣裳試着体験などイベントも随時開催。



写真提供: 奈良県立万葉文化館

奈良県立 橿原考古学研究所附属博物館

地図P37
B-1

☎ 0744-24-1185 料 高校生300円、小・中学生200円
【アクセス】近鉄畝傍御陵前駅から徒歩約5分
【休館日】毎週月曜日(月曜日が休日にあたる場合はその翌日)



奈良県内の多くの遺跡から出土した資料を通じて、日本史の中で重要な位置を占める奈良県の歴史について理解を深めることができるよう、実物を見るだけでなく、実際に触れる展示をおこなっています。常設展「大和の考古学」のほか、春秋2回の特別展、夏には発掘調査成果の速報展「大和を掘る」が開催されています。

今井町

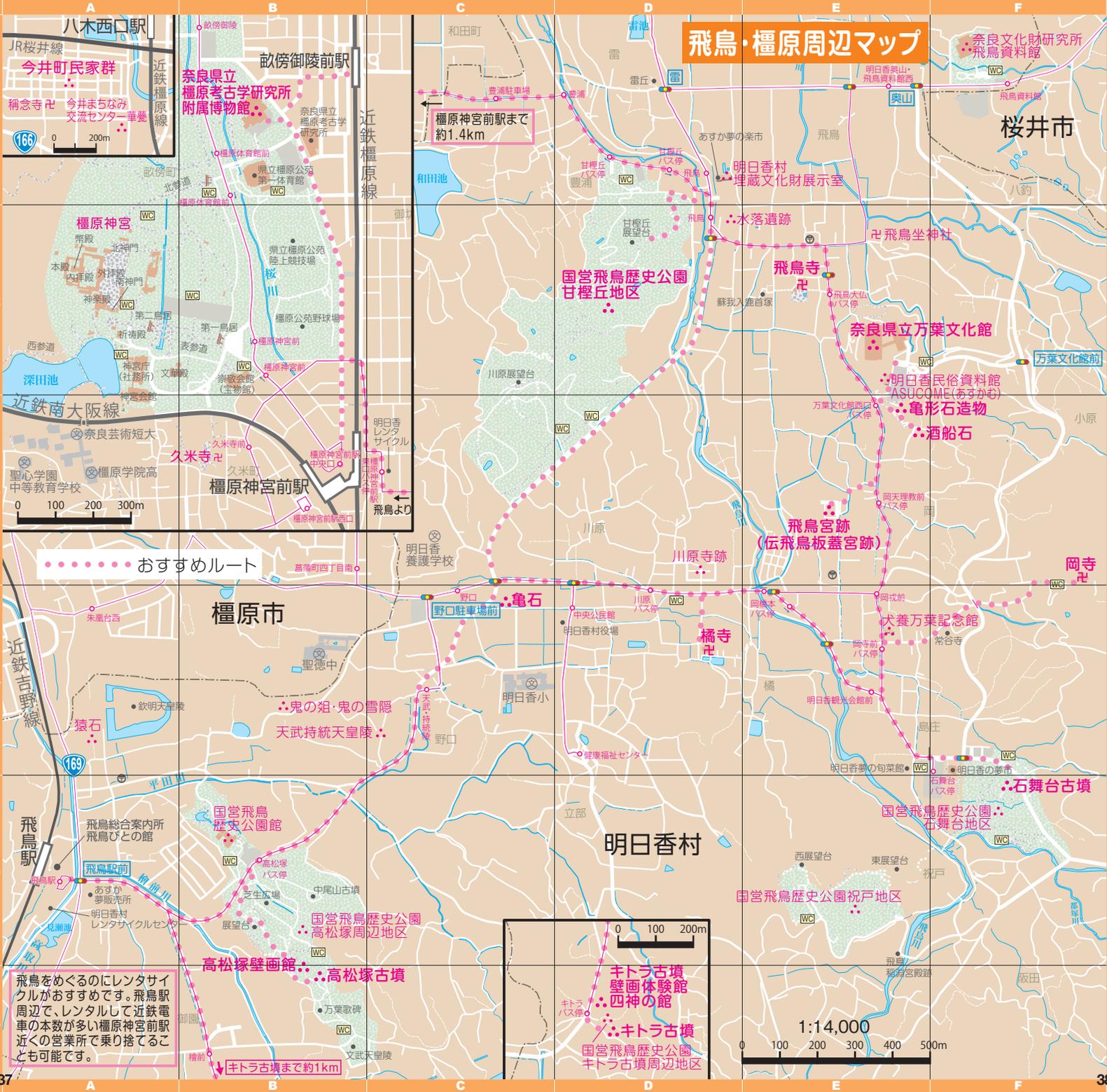
地図P37
A-1

☎ 0744-29-7815 (今井町並保存整備事務所)
【アクセス】近鉄八木西口駅から徒歩約5分
JR畝傍駅から徒歩約8分

かつて「大和の金は今井に七分」といわれるほど繁栄した今井町に残る古い町並みは、中世の環濠集落を発祥とし、稱念寺を中心とした寺内町です。江戸時代も自治が行われてきた日本でも極めて珍しい歴史を持つ町で、その広大な領域に戦国時代、江戸時代からの町並みと道路がそのまま残っています。1993(平成5)年に重要伝統的建造物群保存地区に指定されました。現在も一般の方々が生きて、生きた町であるのも魅力の1つです。



飛鳥・橿原周辺マップ



八木西口駅
 JR桜井線
 今井町民家群
 稱念寺
 今井まちなみ交流センター華堂
 0 200m

橿原神宮
 警殿 北神門 本殿 内拝殿 外拝殿 南神門 神樂殿 第二鳥居 新神殿 西参道 神宮庁(社務所) 文庫殿 神宮会館
 深田池
 近鉄南大阪線
 奈良芸術短大
 聖心学園中等教育学校
 橿原学院高
 0 100 200 300m

橿原市
 近鉄橿原線
 奈良県立橿原考古学研究所 附属博物館
 奈良県立橿原考古学研究所
 橿原体育館前
 橿原公園 第一体育館
 橿原公園陸上競技場
 橿原公園野球場
 橿原神宮前
 橿原神宮前駅
 橿原神宮前駅(中央口)
 橿原神宮前駅西口
 明日香レンタサイクル
 飛鳥より
 久米寺前 久米寺
 久米町
 橿原神宮前駅西口

和和田町
 和和田池
 和泉池
 豊浦駅前
 豊浦
 甘樫丘バス停
 甘樫丘展望台
 飛鳥
 明日香村 埋蔵文化財展示室
 水落遺跡
 飛鳥寺
 蘇我入鹿首塚
 川原展望台
 川原
 野口
 野口駅前
 野口
 中央公民館
 明日香村役場
 明日香小
 健康福祉センター

明日香村
 明日香村 埋蔵文化財展示室
 水落遺跡
 飛鳥寺
 蘇我入鹿首塚
 川原
 野口
 野口駅前
 野口
 中央公民館
 明日香村役場
 明日香小
 健康福祉センター

橿原市
 奈良県立万葉文化館
 万葉文化館前
 明日香民俗資料館 ASUCOME(あすかも)
 亀形石造物
 酒船石
 飛鳥宮跡(伝飛鳥板蓋宮跡)
 川原寺跡
 橘寺
 大養万葉記念館
 常谷寺
 明日香の駅市
 石舞台古墳
 石舞台地区
 明日香の駅市
 石舞台古墳
 石舞台地区

桜井市
 奈良文化財研究所 飛鳥資料館
 飛鳥資料館
 明日香天山 飛鳥資料園
 奥山
 万葉文化館前
 明日香民俗資料館 ASUCOME(あすかも)
 亀形石造物
 酒船石
 飛鳥宮跡(伝飛鳥板蓋宮跡)
 川原寺跡
 橘寺
 大養万葉記念館
 常谷寺
 明日香の駅市
 石舞台古墳
 石舞台地区

飛鳥
 近鉄吉野線
 飛鳥駅前
 飛鳥総合案内所 飛鳥びとの館
 あすか夢販売所
 明日香村 レンタサイクルセンター
 飛鳥をめぐるのがレンタルサイクルがおすすめです。飛鳥駅周辺で、レンタルして近鉄電車の本数が多い橿原神宮前駅近くの営業所で乗り捨てることも可能です。
 高松塚壁画館
 高松塚古墳
 高松塚壁画館
 高松塚古墳
 高松塚古墳まで約1km

明日香村
 野口駅前
 野口
 中央公民館
 明日香村役場
 明日香小
 健康福祉センター
 高松塚壁画館
 高松塚古墳
 高松塚壁画館
 高松塚古墳
 高松塚古墳まで約1km

明日香村
 野口駅前
 野口
 中央公民館
 明日香村役場
 明日香小
 健康福祉センター
 高松塚壁画館
 高松塚古墳
 高松塚壁画館
 高松塚古墳
 高松塚古墳まで約1km

明日香村
 野口駅前
 野口
 中央公民館
 明日香村役場
 明日香小
 健康福祉センター
 高松塚壁画館
 高松塚古墳
 高松塚壁画館
 高松塚古墳
 高松塚古墳まで約1km

明日香村
 野口駅前
 野口
 中央公民館
 明日香村役場
 明日香小
 健康福祉センター
 高松塚壁画館
 高松塚古墳
 高松塚壁画館
 高松塚古墳
 高松塚古墳まで約1km

明日香村
 野口駅前
 野口
 中央公民館
 明日香村役場
 明日香小
 健康福祉センター
 高松塚壁画館
 高松塚古墳
 高松塚壁画館
 高松塚古墳
 高松塚古墳まで約1km

0 100 200m
 キトラ古墳 壁画体験館
 四神の館
 キトラ古墳
 国営飛鳥歴史公園 キトラ古墳周辺地区

1:14,000
 0 100 200 300 400 500m

山の辺の道 エリア

山の辺の道の概要

大和平野の東の山すそを南北に通る山の辺の道は、『古事記』『日本書紀』にも登場する日本最古の道と言われます。道沿いには数多くの遺跡や古墳群、古社寺が点在し

ています。日本最古の神社の一つである大神社社を始め、百濟から献じられたという七支刀(国宝)が伝わる石上神宮、日本最大級の前方後円墳・箸墓古墳、3世紀初め頃の大集落跡・纏向遺跡など、古代の風景に触れることができます。

写真提供: 奈良県ビジターズビューロー



写真提供: 奈良県ビジターズビューロー

大神神社

地図P40
F-5

☎ 0744-42-6633
¥ 無料 ※宝物収蔵庫は高校生以下100円
[アクセス]JR三輪駅から徒歩約5分



写真提供: 大神神社

日本最古の神社といわれる古社。国造りの神である大物主大神を祀り、農業、工業、商業すべての産業開発、治病、酒造り、製菓など人間生活全般の守護神として親しまれています。背後にそびえる三輪山を御神体としているため、神社に本殿はなく、拝殿(重要文化財)の奥にある三ツ鳥居を通して三輪山を拜む古代の信仰形態を現在に伝えています。

なら歴史芸術文化村

地図P40
E-1

☎ 0743-86-4420 ¥ 無料(催しにより有料の場合あり)
[アクセス]JR・近鉄天理駅よりシャトルバス運行/JR・近鉄天理駅より奈良交通バスで「勾田」下車、徒歩約15分
[休館日]月曜日(月曜が祝日の場合はその翌平日)、年末年始(12月28日~1月4日)

歴史、芸術、食と農など、奈良県の文化に触れることができます。日本で初めてとなる文化財4分野(仏像等彫刻、絵画・書跡等、建造物、考古遺物)の修復作業現場の公開や、国内外から招いたアーティストとの交流、アートプログラムなどを実施しています。奈良県産食材を使ったレストランのほか、県産農産物や伝統工芸品などを販売する直売所も。



長谷寺

地図P40
B-5

☎ 0744-47-7001
¥ 中学生以上500円、小学生250円
[アクセス]近鉄長谷寺駅から徒歩約15分



写真提供: 長谷寺

長谷寺は真言宗豊山派の総本山で、創建は奈良時代とされます。本尊は観音さまとお地藏さまの両方のご利益があるといわれる長谷寺式十一面観世音菩薩で、平安時代には貴族の間で「初瀬詣」が広まり、『源氏物語』や『枕草子』などの古典文学にも登場しました。仁王門を抜け、本堂(国宝)へと続く登廊は399段の石段になっており、ボタンやアジサイなどの季節の花々や紅葉の名所として有名です。

唐古・鍵遺跡史跡公園

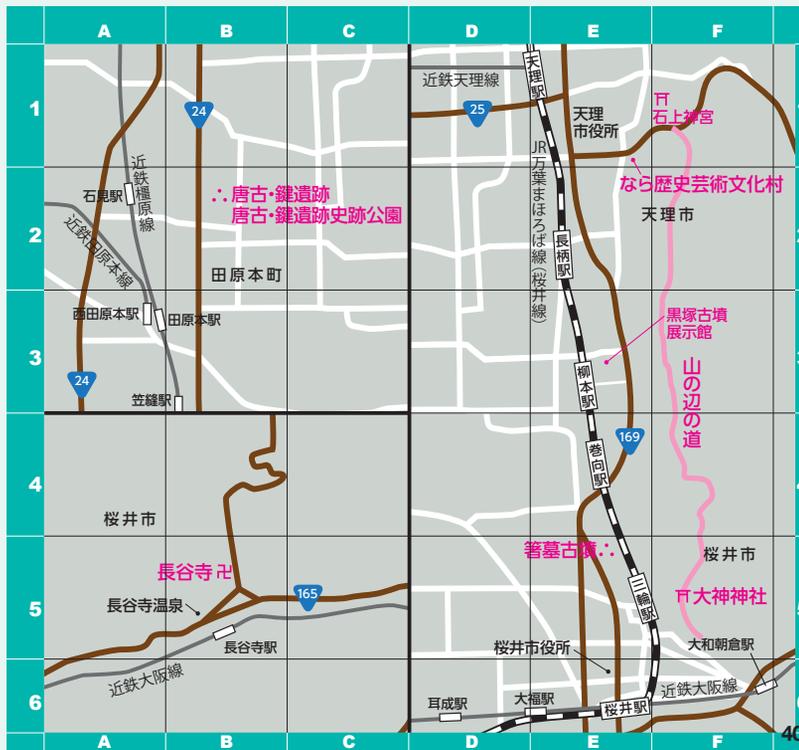
地図P40
B-2

☎ 0744-34-5500 ¥ 無料(催しにより有料の場合あり)
[アクセス]近鉄福原線「石見駅」から徒歩約20分
[休園日]月曜日(月曜が祝日の場合はその翌平日)、年末年始(12月28日~1月4日)

唐古・鍵遺跡は、今から約2,000年前の環濠集落の遺跡です。弥生時代前期から後期までの約700年の間、集落が存在していました。弥生時代の風景が再現された広大な史跡公園には、復元楼閣や、大型建物の柱穴が見られる遺構展示情報館などがあります。まが玉作り・ミニ銅鐸作り・火おこし体験など、弥生人の暮らしを体験することができます。



写真提供: 田原本町教育委員会



吉野山 エリア

吉野山の概要

古来より日本一の桜の名所として知られる吉野山。
えんのぎょうじや 役行者の開山以来、しゆげんどう 修験道の聖地として信仰を集め、
しずかこぜん 源義経と静御前の悲話、後醍醐天皇の南朝史など
 数多くの歴史の舞台となりました。修験道の開祖・役行者は約1,300年前、
 苦行をされていたとき、眼前に現れた蔵王権現のお姿を桜の木に彫り出し、
 お堂を建てて祀ったことから吉野山では山桜がご神木として保護され、
 信者のけんぼく 献木によって、一目千本と言われる桜の名所となりました。2004
 (平成16)年、吉野山を含む「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産に登
 録されました。

金峯山寺

地図P42
C-3

☎ 0746-32-8371

📌 蔵王堂 中・高校生600円、小学生400円 特別公開 中・高校生1,200円、小学生800円
 [アクセス]近鉄吉野線吉野駅経由、ロープウェイ吉野山駅から徒歩約10分



秘仏 金剛蔵王権現像 3体

吉野山のシンボル金峯山寺は、修験道の根本道場です。吉野山から山上ヶ岳(大峰山)にいたる山々は古代より世に広く知られた聖域でした。修験道の開祖役行者が7世紀後半に開いたと伝わります。蔵王堂は、東大寺大仏殿に次ぐ大きさの木造古建築で、現在の本堂は1592年頃に再建された、入母屋造り、檜皮葺の巨大な屋根を持つ建造物です。
 秘仏本尊蔵王権現(重要文化財)は三体あり(中央の像は7.28m)、正式名称「金剛蔵王権現」といいますが、「金剛」とは、なによりも固く壊れることのないものを意味し、完璧な強さで私たちのすべてを隙間なく守ってくれる仏です。平成16年には金峯山寺蔵王堂及び仁王門が世界文化遺産に登録されました。

国宝仁王門修理勸進のため
 秘仏本尊特別公開が、
 毎年一定期間行われています。

写真提供:金峯山寺



吉水神社

地図P42
C-3

☎ 0746-32-3024

📌 書院 中・高校生400円、小学生300円
 [アクセス]ロープウェイ吉野山駅から徒歩約20分

役行者が創建した格式の高い修験宗の僧坊で、吉水院と呼ばれたところですが、明治の神仏分離によって神社となりました。
 源義経や弁慶、静御前らが身を隠したところでもあり、後醍醐天皇が南朝を開いた皇居とされています。豊臣秀吉の花見の本陣にもなったなどの歴史的逸話で知られています。単層入母屋造り、檜皮葺の書院には南朝時代の古文書や武具など100点を超える宝物が残っています。



吉野水分神社(子守宮)

地図P42
E-6

☎ 0746-32-3012 無料

[アクセス]ロープウェイ吉野山駅から徒歩約90分

世界遺産に登録された吉野山の水分神社は、水の分配を司る天之水分大神が主祭神です。子授け、安産祈願の神社として信仰を集めています。社殿は、豊臣秀頼が再建したもので、桃山時代の美しい特色を今に伝えています。

吉野山ロープウェイ

地図P42
B-1.2

☎ 0746-39-0010

📌 中・高校生片道500円 往復900円、小学生片道250円 往復450円

昭和4年に開通した、現存する日本最古のロープウェイで、機械遺産に登録されています。千本口駅から吉野山駅へは全長349mです。

